



宇宙のビッグバンとは何なの

宇宙は「大爆発」によってできた

ビッグバンとは、英語で「大爆発」という意味のことばです。宇宙が「大爆発」によって生まれたので、ビッグバンとよんでいます。

今から150億年ぐらい前、今の宇宙にあるすべてのものは、1か所に集まっていた。そして、あるときに、ビッグバンという「大爆発」が起こり、1か所に集まっていたものが、非常に高い温度と圧力（おしつける力）をもった「火の玉」になって、こなごなに飛びちりました。

宇宙が冷えて銀河ができた

初めは、非常に高い温度と圧力であった宇宙が、ぼう張を続けていきました。ぼう張するにつれて宇宙は、冷えていきました。

宇宙がだんだんと冷えて、温度が下がってきてから、たくさんの銀河や星が、生まれてきたと考えられています。（監修・国司 真）

宇宙のビッグバン（大爆発）

